

令和2年度業績ハイライト

預金積金残高

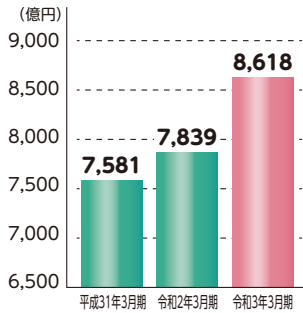
8,618億円

夏冬2回の定期預金キャンペーン実施に加え、静岡市立日本平動物園と連携した預金商品を販売いたしました。

また、コロナ禍で影響を受けている個店の支援やステイホーム中の子どもが楽しめる動画のweb配信などを通じ、地域のお客さまとのつながりを深めてまいりました。

その結果、預金積金残高は前期比779億14百万円増加いたしました。

[預金積金残高の推移]



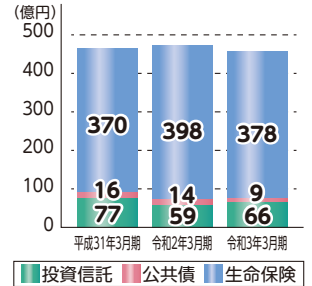
預かり資産等残高

454億円

「お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティ）」に関する基本方針に則り、分かりやすい説明と適切な情報提供に努めてまいりました。

その結果、投資信託・公債・生命保険の合計残高は454億66百万円となりました。

[預かり資産等残高の推移]



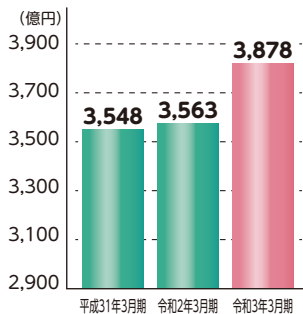
貸出金残高

3,878億円

コロナ禍の中、事業者のお客さまの資金繰り支援や本業支援に注力するとともに、個人のお客さまには生活資金サポートを目的とした「せいしん個人ローン『新型コロナ関連生活応援プラン』」を取扱うなど、お客さまのニーズにきめ細かく対応してまいりました。

その結果、貸出金残高は前期比314億53百万円増加いたしました。

[貸出金残高の推移]

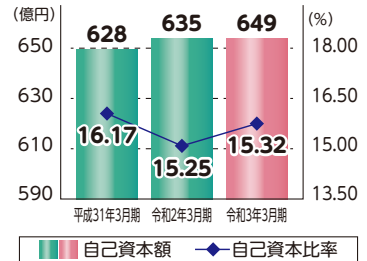


自己資本比率(単体ベース)

15.32%

自己資本比率は15.32%と、前期比0.07ポイント上昇し、引続き国内基準(4%)を大きく上回る健全性を維持しております。

[自己資本額/自己資本比率の推移]

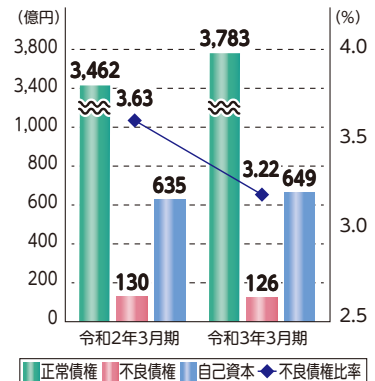
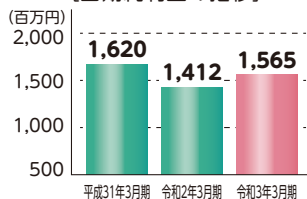


不良債権の状況(金融再生法ベース)

金融再生法上の不良債権残高は126億円、不良債権比率は3.22%となりました。

この内、担保・保証および貸倒引当金で117億円、93.06%がカバーされ、残りの不良債権残高も潤沢な自己資本649億円によりカバーされております。

[当期純利益の推移]



当期純利益

15億円

貸出金利息収入等が増加となり、引き続き経費等のコスト削減に努めたことで、当期純利益は1億53百万円の増益となりました。